

令和元年度 第3回 行財政改革推進検討懇談会議事録

1 懇談会概要

日 時	令和元年11月8日（金）14:00～16:00	
場 所	尾道市役所 本庁舎 5階委員会室	
出席者	委 員	青木委員、伊藤委員、兼田委員、松井委員、空谷委員、渡邊委員 6名（氏名50音順、敬称略）
		井本委員、日下委員、高橋委員、村上委員 4名 所用により欠席
	事務局	宮本総務部長、前川職員課長、坂本政策企画課長、中山財政課長、高橋職員課長補佐兼人事研修係長、岩崎職員課行政経営係主任
次 第	1 開 会 2 議 事 審議事項 ・第7次行革大綱（素案）について 3 その他 4 閉 会	
配 布 資 料	資料番号1 第7次尾道市行財政改革大綱体系（案）の概要 資料番号2 行財政改革推進検討懇談会意見集約表 資料番号3 第7次尾道市行財政改革大綱（素案） 資料番号4 【参考】 議事録要約版（公表用） ・第1回（7/1） ・第2回（9/30）	

2 議 事 ※事務局から説明後に委員により意見交換

審議事項「第7次尾道市行財政改革大綱（素案）について」

会 長           第7次尾道市行財政改革大綱（素案）について、事務局から説明がありました。まずは、尾道市を取り巻く情勢などの分析について、お気づきの点がありましたら、お聞かせいただければと思います。

委 員           尾道市の人口推移について、市内の人口は、一律に減るというわけではなくて、条件の厳しいところが減って、そうじゃないところは比較的そうでもないのかな、と思いますが、そういった地域格差についてはどう扱うのでしょうか。

また、インターネット利用率とインターネット利用端末の種類グラフがありますが、国の方では、年齢別のデータというのもあり、スマートフォンだと、50代以上は大きく落ちており、30代・40代では、ほぼ9割が利用しています。全体的には、スマートフォンの利用などによるインターネットの利用率は高くなっているんですけども、年齢の階層によってかなり差があるので、その辺は少し配慮がいるのかな、と言う風に思います。

会 長 人口の地域ごとの推移やインターネットの年齢別での利用率などの分析についてですが、市全体の行財政改革ということですので、こういった地域差の問題、あるいは年齢別の利用状況の問題について、考慮は必要と思われま

委 員 人材・情報・資産・資金を行政経営資源と表現していますが、キーワードと理解すれば良いのですか。

会 長 そうですね。行政についても、民間と同じようなマネジメントが大事であるということで、行政マネジメント、行政経営というような表現がよく使われますし、そういったスタンスが重要であると言われて

会 長 次に、大綱の一番重要な部分である「基本方針とその改革の方策について」、前回の懇談会での議論を踏まえたうえでの案となりますが、何かご意見等をお聞かせいただければと思います。

委 員 運営と経営は違うので、人材・情報・資金・資産を活用し、経営していくという観点で、基本方針の中で行政経営という表現をもっと強調しても良いのではないですか。

会 長 英語で言えば、運営も経営もマネジメントを指していると思いますが、最近の主流でいうと行政マネジメント、経営ということが重視されていると思います。行政運営と行政経営の使い分けの意図は何ですか。

事務局 行政経営の方が行政運営よりも少し戦略的なイメージで使っております。

会 長 運営と経営はマネジメントと言う意味で、一緒ではないかと申し上げましたが、プロモーションが運営だという考え方もあるでしょ

うから、使い分けについては、留意していただけたらと思います。

委員 行財政改革を推進するうえで、行財政改革推進本部にて進行管理を行うとあるが、どんな組織ですか。

事務局 本部長が市長、本部員が部長級以上の職員で構成している市役所内部の組織です。

委員 公共施設マネジメントに、空き家対策も含まれますか。

会長 切実な問題であろうかとは思いますが、市の側、行財政経営・行財政運営にとってみれば、民間での活用が進み、固定資産税が安定的に入ってくるという仕組み作りが必要だと思います。ただ、この行財政改革の中には含めにくい内容かと思われま。

委員 基本方針の「2 効果的・効率的な行政運営」の改革の方策「効果的な行政運営プロセスと組織力の向上」の取組の中に、「行政課題への迅速・柔軟な対応が可能な組織機構の整備」とありますが、例えば、ここに矢印を入れて、島嶼部・中山間地域など、多様な地域特性に対応した組織のあり方などを入れてみてはどうかと思います。もちろん、このままでも、そういった視点が含まれると思いますが、尾道は地域が広く、それぞれの地域の多様性に対応するため、組織配置にもお金が掛るということもあると思うので、そういったところを少し明記してもいいかな、という気が若干しました。

会長 ご指摘の通りだと思います。どの市町も同じような仕事、業務をしておりますので、なかなか特徴を出しにくいと思いますが、共通部分と少し地域性を打ち出してもと思います。

また、基本的な考え方として、まずは自助、自分たちの問題から始めるということ、もう少し強調すると思います。

さらに、行政運営と行政経営の違いについて、行政マネジメント、公共経営といった視点を強調する考え方もあろうかと思。

委員 メンタル不調で職場から遠ざかっている人がどんな職場にも、おそらく尾道市職員の中でもいらっしゃると思います。職場のコミュニケーションとか、上司との定期的な面談など、健康経営を推進するような表現があっても良いと思います。

委員 住民票の発行などの行政窓口について、コンビニは使えますか。

また、税金の支払いは、コンビニで可能ですか。

事務局 コンビニでの税金の支払いは可能ですが、住民票の発行までには至っておりません。マイナンバーカードが普及しないと経費の方が多く掛かってしまうことが一つの要因となっています。

委員 運転免許証があるからマイナンバーカードは作らないという人が多いと思われます。本当にどこまで普及できるのか。

会長 マイナンバーは、もっと利用できる分野は広いはずなんですが、なかなか個人情報の問題などで、市民、国民の方で抵抗のある方も多いいと思われます。

委員 基本方針「3 多様な人材・団体の活躍支援」の説明の中で、「自助・共助を踏まえ、市民と市が連携して主体的なまちづくりを進める必要があります」と書いてありますが、この「主体的なまちづくり」というのは、主語が「市民が」なのか、「行政も」なのか、どのように解釈すれば良いのですか。

事務局 協働のまちづくりを推進するうえで、市役所が担えない部分、市民の方や団体事業者のみなさんに担っていただく部分のことを、表現させていただいておりますので、もっと分かり易い表現などを検討していきたいと思いいます。

委員 多様な人材・団体の活躍支援については、それぞれが独自に活躍するという役割を担っていただくという意味だと思いいますが、今までも色々な団体が目的に沿った活動をして来たと思いいます。それでも、さらに、厳しい財政状況が見込まれる中で、より一層、人々の役割が重要になるというのが、これからの社会だと思いいます。今までも、自助・共助・公助というのは、色々なところで言われてはきていますが、具体的な形を示していくなど必要かと思いいます。そのため、もう少し、今まで言われて来た言い回しではなく、より欠かせないものになっていくと言った部分を強調しないといけないのではないかと思いいます。

会長 多様な人材・団体の活躍支援の説明の中で、「自助・共助を踏まえ、市民と市が連携して主体的なまちづくりを進める必要がある」と表現されていますが、もう少し強く、まさにそれぞれが主体的に、取り組むような表現が必要ということでしょうか。

委員 全体的に厳しい財政状況が見込まれるのであれば、言い古された

言葉ではなく、協力を求めていくと言った、ちょっとインパクトのある表現でもいいのかなと思います。ただし、協力を求める部分だけを強調すると意図が伝わらない可能性もあるため、難しいところだなと思います。

委員 「みんなで頑張りましょう」、「やりましょう」のようなニュアンスでスタートしていくことだと思います。そのうえで、補えない部分を市や関係機関と連携することだと思います。

会長 「自助・共助」というのが、役割を明確にする第一段階だと思いますが、もう少し説明不足ということですね。考え方としては、すごく重要な、基本的な考え方に係ることだと思いますので、表現を工夫していただけたらと思います。

委員 基本方針の「3 多様な人材・団体の活躍支援」の改革の方策「(1) 協働のまちづくりの推進」の中で、例えば「地域の維持・価値を高めるために、多様な主体がそれぞれの強みにより活躍できるよう、協働のまちづくりを推進する」など、目的を少し入れた方が良いのではないかと思います。協働のまちづくりをすることが目的になってしまわないように、注意が必要だと思います。

委員 用語解説の「財政健全化判断比率」の説明が難しいと思います。

会長 市内部の計画であり、取組だと思いますが、市民も主体的に取り組むべきだという内容も含まれていますので、分かり易い表現について、工夫が必要と思います。

会長 色々なご意見を伺いましたので、これを反映していただいて、大綱の完成にむけて取り組んでいただければと思います。

以上で、第3回の懇談会を終わります。長時間にわたり、どうもありがとうございました。